

【参考資料】

copeあいち2030年ビジョン

消費行動やくらしのあり方を見直しながら、持続可能な食の循環を発展させます

- 「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、「あいちを食べよう大運動」やエシカル消費などを推進し、生産と消費の笑顔がつながる事業・活動をすすめます。
- 誰もが住み慣れた地域で生涯健康に暮らし続けられるよう「おいしく・楽しく・食べよう!!」をテーマに食と健康のとりくみを推進します。

誰もが健康で心豊かに安心して暮らせる地域社会づくりをすすめます

- 福祉事業やたすけあいの活動、生活サポート事業を通じて、地域のくらしに貢献します。
- 事業や活動のインフラを活用し誰一人取り残さず、お互いを認め合い、助けあえる地域の居場所づくりを広げます。
- 行政や地域の諸団体と一緒に活動をすすめます。

多様な人々の共生、お互いを理解し合える社会づくりに貢献します

- 老若男女、多様な人々がお互いを思いやれる地域社会をめざします。
- 組合員と職員が生き生きとチャレンジできるcopeあいちを目指します。

地球温暖化対策に積極的にとりくみ大切な地球を未来の子どもたちへ引継ぎます

- 2030年のCO₂排出削減目標に対する具体的な実行プランを作成し、事業と活動を通して子どもたちの笑顔あるくらしを目指します。
- 「環境方針の4つの柱」にそった実践と、さらなる研究を進めます。

飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

- 誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題についての理解を深め、助け合いの精神を育き、ユニセフ活動や様々な募金活動等にとりくみ、子どもたちを支援します。
- 「貧困」の連鎖をなくしていくために、子どもの貧困について学び、話し合う活動を広げ、フードバンクなどのとりくみをすすめます。

核兵器廃絶と世界平和の実現を目指し、次世代へ継承します

- 「核なき世界」の実現のために、世界の人々と手を携えて、核兵器を廃絶し、平和な社会をめざすとりくみをすすめます。
- 次の世代に被爆・戦争体験を継承します。
- 全国生協のスローガンである「平和とよりよい生活のために」のもと一人ひとりが参加できる活動のあり方をつくりあげます。



SDGsの17番目の目標は“パートナーシップ”です。



あらゆる課題を解決するためには、協同の力が不可欠です。